

競技方法

- 競技規則 2024年度日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び本大会規則による
- 大会期間中及び試合中に**熱中症特別警戒アラート**等が発表され熱中症による選手等の健康に重大な被害が生じると判断した場合は大会の中止・試合の中断をする
- 試合方法
- ① 予選はリンク戦とする。勝率が同率の場合⁽¹⁾勝ち点⁽²⁾失点数⁽³⁾選手9人による抽選の順とする
※勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点
※55分過ぎて、後攻のチームがリードしている場合は、その時点で試合を終了する
※予選、決勝トーナメントの試合時間は60分する、**ただし決勝戦のみ70分とする**
(試合時間の55分及び65分を過ぎて新しいイニングに入らない)
 - ② 試合開始時間30分前または前の試合3回終了時までにはオーダー表を提出すること
 - ③ ベンチは、若番が1塁側、攻守はコインで決定する
 - ④ ホームランラインを本塁上から50mに設置する
(ゴロで抜けた場合はエンタイトルツーベース、送球間で抜けた場合はテイク2とする)
 - ⑤ 3回15点、4回10点、5回以降7点以上、生じた場合は「得点差コールドゲーム」を適用する
(55分を過ぎて先攻チームが、10点以上リードしている場合は攻守を交代して最終回とする)
 - ⑥ 熱中症対策として、1イニング10点入った時点で攻守を交代する。
また、2イニング毎もしくは15分毎で、3分間の給水タイムを取ります(試合時間は、中断します)
 - ⑦ 延長戦は、7回終了時に60分以内であればタイブレークルールを**1回のみ行う**
60分を過ぎていれば延長戦を行わず引き分けとする
ただし、決勝戦は7回または70分終了時同点の場合は最長2回までタイブレークルールを採用しそれ以後は選手9人で抽選を行い勝敗を決定する
 - ⑧ 打者、走者、次打者、ベースコーチは、ヘルメットを着用すること。
捕手は、捕手用ヘルメット・スロートガード付マスクを着用すること
 - ⑨ **予選リンク戦に**各チームから2名の帯同審判員をお願いします
 - ⑩ 決勝トーナメント(ベスト8)組み合わせ抽選会は、18日7時30分から松山中央公園(Aコート)で行います